

こぶし だより

働こう障害者も
SSKW
働けるんだオレたちも



芳賀町民祭にて。今年もみんなでがんばりました！（けやき作業所）

CONTENTS

- ① 特集「障害者自立支援法と第30次国会請願署名・募金運動」… 2P～3P
- ② トピックス …………… 4P～5P
- ③ 評議員から一言 …………… 4P～5P
- ④ ふれんどパーク …………… 6P
- ⑤ こぶしサポーターズ …………… 7P
- ⑥ アドレス・編集後記 …………… 8P

No.307

2006

12

—多くの皆様のご協力をお願いします—

特集



障害者自立支援法と 第30次国会請願署名・募金運動

いよいよ第30次国会請願署名・募金運動がスタートしました。毎回、私たちにとって切実な内容を取り上げて進めてきましたが、今回は何といたっても障害者自立支援法の見直しを求めます。

がんばるDAYで 訴えました

きょうされんは、去る一二月五日(火)に全国一斉に「聞こえていますか、応益負担の悲鳴」をテーマに、「がんばるDAY」に取り組みました。「応益負担」は、障害者自立支援法の基本となる考え方です。とちぎ支部でも宇都宮市のオリオン通りで街頭署名募金、カレンダー販売を行い、こぶしの会からも利用者、職員が参加してきました。

皆さまもご存知のように、この四月から施行された障害者自立支援法は、障害福祉サービスが必要とされる方にとって、とても大きな影響を持っています。しかし、この法律は、納得いかない重要な疑問点やたくさんあやふやな点を残したままスタートしてしまいました。そのため利用者も、その家族も、そしてサー

ビス提供事業者も深刻な悲鳴を上げているのです。

私たちはこれまでもさまざまな形で法律の見直しを訴えてきました。今回は国会に向けて制度改正とスムーズな移行のための施策、法律の積極面を生かすための課題の解消を求めて請願運動を行います。一人でも多くの方に私たちの気持ちや法律のことをわかっていただくこと、そしてその理解者の存在を署名や募金の形で表現していただくことが、国を動かす大きな力になります。これまでもそうして少しずつ障害者福祉を前進させてきました。

「がんばるDAY」では、多くの若い方が賛同し、署名募金をしてくださいました。参加者は、皆さんからあったかいパワーをいただき、嬉しい気持ちで帰ってきました。ありがとうございました。

利用者からのお願い

私は、利用者自治会フレンズ自治会長をしております吉沢実といいます。セルプ・みらいは障害者の働く作業所です。

私たち三〇人は、毎日お弁当を作ったり、箱折りをしたり、アルミ缶回収をしたり一生懸命働いています。今年四月からはじまった障害者自立支援法によって、ここに働きにきているだけで給料より高い利用料をはらわなくてはならなくなりました。

私の場合給料が一万九千円で、利用料二万円です。この法律は、私たちの生活を苦しめて地域での自立生活など夢のまた夢となつてしまいます。

私は今も一般就労という夢をあきらめてはいません。どうか私たちの声を多くの方に知ってもらおうと同時に私たちの不安定な将来、不安定な生活をかえて

いく力をください。
みなさまからのご協力をよろしく願っています。

請願項目

一、利用者負担は応益（定率）負担ではなく、負担できる能力に応じた応能負担を原則としてください。また、利用料の算定に当たっては本人収入のみに着目することとしてください。

二、小規模作業所が新事業にスムーズに移行するための支援策と、移行するまで小規模作業所として存続する間の支援策を、都道府県、市町村などと一体的に講じてください。なお、新事業体系と報酬単価を抜本的に見直すと同時に、報酬の日額払いを月額払いに戻してください。

三、障害者自立支援法の附則並びに附帯決議に記された地域生活をすすめる上での課題の解消（社会資源の量的整備、所得保障、障害範囲の見直しなど）に、早急に着手してください。

※署名用紙は、各事業所にあります。どうぞご連絡ください。皆さまのお力をおかしくください。

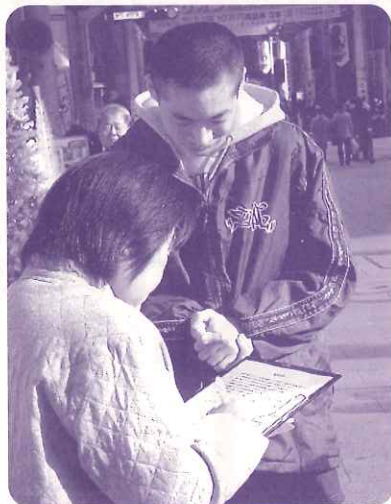
がんばるDAYの様子



全員集合



協力ありがとうございます



署名お願いします



応益負担、反対！

トピックス

第2けやき作業所(就労移行支援事業) 日帰り研修旅行 ～塩原温泉郷の巻～

第2けやき作業所は、平成一六年四月より精神障害者通所授産施設として運営・活動してきましたが、平成一八年一〇月一日より、障害者自立支援法施行に伴い、三障害(精神・知的・身体)の方々を対象とした「就労移行支援事業」と「生活介護事業」の多機能型事業所に移行しました。

けやき作業所から第2けやき作業所(就労移行支援事業)に移った方六名を合わせ、一二月一日現在で就労移行支援事業には三〇名の方が在籍しています。それぞれ下請け事業(二七名)・給食事業(五名)・パン製造事業(五名)・弁当事業(二名)の四つの事業に分かれ、作業に取り組んでいます。登録利用者も増え、顔ぶれも少し変わり、就労移行支援事業の利用者・職員の親睦を深めたいという想いから今回、日帰り研修旅行を計画しました。行き先は塩原温泉郷に決まり、へ温泉コースとへ観光コースの二つに分かれ実施しました。一月の下旬(二五日)なので、寒さが厳しいと思われましたが、当日は天候にも恵まれ、総勢二八名で有意義な時間を過ごすことができました。へ温泉コースは、みかえり温泉彩花の湯で身も心もリフレッシュし、へ観光コースでは「トテ馬車」「木の葉化石園」で歴史を体感しました。利用者・

職員共、障害者自立支援法施行により忙しい一年でしたが、その疲れも少し癒されたのではないのでしょうか。



トテ馬車に乗ってゆ～らゆら



楽しい旅行になりました

セルフ・みらい

旅行に行ってきました

秋のмираいの定例行事と言えば「親睦旅行」で、今年「アクアワールド・大洗」に決まりました。利用者の実行委員会も同時進行で行い、今年自治会役員全員が実行委員を希望し、メンバーで役割を決めました。

さて、気になる当日の天気は：残念ながらバスの出発直前に雨が降り出し、アクアワールドをでるときには滝のような雨!!しかし、旅行実行委員会のメンバーは皆、元気で、ガイドも無事やり遂げ、クイズやカラオケの司会も無事務めることができ、「やった!!」という実感も持てたようです。バスも快適で、大洗水族館ではイルカショーが好評でした。また、那珂湊漁港では、海の幸の買い物も楽しめました。

参加者全員が満足できるプランをつくるの

こぶしの会

評議員から一言

木滑 シズ子 様

(全国障害者問題研究会 栃木支部事務局長)

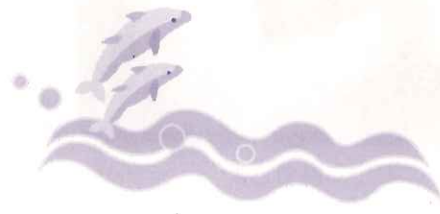


「評議員になってほしい」というお話をいただいた時「私が?」と思いましたが、「全障研の事務局の代表として出てほしい」と言われ「それならば」と、お引き受けしました。全障研(全国障害者問題研究会)と、こぶしの会とは、とても深いつながりがあるからです。それは、全障研のサークルの一つであった障害児の親のサークルの中から、親たちの運動の成果としてこぶし作業所が生まれていったからです。「どんなに重い障害をもっているても、働く場を」という、親たちの切実な思いを後押ししながら、西川田町の日曜作業所で洗濯バサミを作り、睦町の共同作業所へと発展させ、法人化されたこぶし作業所の誕生となっていた過程を知る全障研としては、これからのこぶしの会の行く先を見守り続ける責任があると思っています。学校教育を終えたその後、生き生きと働ける場をどんな

は、とても難しいですが、「イルカのショー面白かったです」「お魚がおいしかったよ」「もっと(魚市場で)買物の時間がほしかったよ」という感想を聞くと、実施してよかったですと感じます。



アクアワールド 楽しかったね



いぶし作業所 ちよつとつうれしい報告です

こぶし作業所では、毎年一泊二日の親睦旅行を行っています。今回はこの旅行に行くために給料を少しずつ積み立ててきた仲間をご紹介します。

平成一六年度の「親睦旅行」の声がかかったとき、「参加したいけどお金がない」と言いました。とても残念そうで、その気持ち全員に伝わりました。仲間や職員でどうしたら一緒に旅行に参加できるのか考えました。この年の結論は、自治会からお金を借りて計画的に返済していくというもので、無事に西

伊豆方面へ旅行に行くことができました。それから月に二千円ずつ自治会にお金を返済していき、一年後には無事に返済が終わりしました。それまでの彼は、給料日の次の日には休んで気前よくお金を使ってしまうという生活だったのですが、少ない給料の中からよく返しました。

さて、それからというところ。平成一七年度の親睦旅行にはやっと旅行費が返済できたところなのでお金がありません。「今年には行かない」と来年のために積み立てすることにし、この年の旅行は見送ることにしました。

そして待ちに待った、平成一八年度の親睦旅行はというと…。旅行実行委員会に立候補し、実行委員長を務め無事に参加することができました。支払いの日には、今まで汗水流して働いて貯めた積み立てから、一枚二枚とお金を支払い、最後はおつりが出ました。「来年は旅行に行かないからもう貯めない。おつりは貯金しない」と決めましたが、どんな楽しい行事がこの先待っているかもしれないので、とりあえずまた二千円ずつ貯めようということになりました。ちよつと嬉しい、この三年間の取り組みでした。

こぶし作業所後援会

第二九回チャリテイバザー

一月二三日(休)にオリオン通りイベント広場にて第二九回チャリテイバザーを実施しました。天気予報では雨になる確率が高かったのですが、日頃の行いが良かったのか当日は

に重い障害をもっている人にも保障するというこぶしの会の実践は、全障研の理念とするどんな重い障害の人にも発達保障を、の実現そのものだからです。しかし、障害者自立支援法の施行は、日本に福祉なしの感を強くしています。障害をもつ人の生活破壊と、その人たちを支援して働く人にとっても、生活することを困難にしています。生きること喜びを見出せない時代になっています。福祉に関わる者として、この時代をしっかりと見極め、行動して行きたいと思っています。

晴天に恵まれました。

当日は、用意していた品物が足りなくなってしまう、こぶしに取りに行くという嬉しいハプニングが起きるほど多くのお客様に来場していただきました。また、仲間もカレンダールを販売して歩いたり、募金をお願いをしたりと大忙しでした。

今回のチャリテイバザーは、①感謝 ②充実 ③元気 ④連帯をテーマに掲げて準備を重ねてきました。特に②の充実に焦点を当て、お客様に上質のものを提供できるように準備をしてきましたので、今回はその成果が売上に反映されました。今回のチャリテイバザーの売上目標は、五〇万円だったのですが、総売り上げは六三万九一五円にもなりました(純利益五二万二千四三七円)。これも、物品を提供してくださった方々、お客様として来場された方々、ボランティアや保護者の方々のおかげです。協力していただいた皆様、どうもありがとうございます。

やな せ の り たか

柳瀬典孝さんをご紹介します

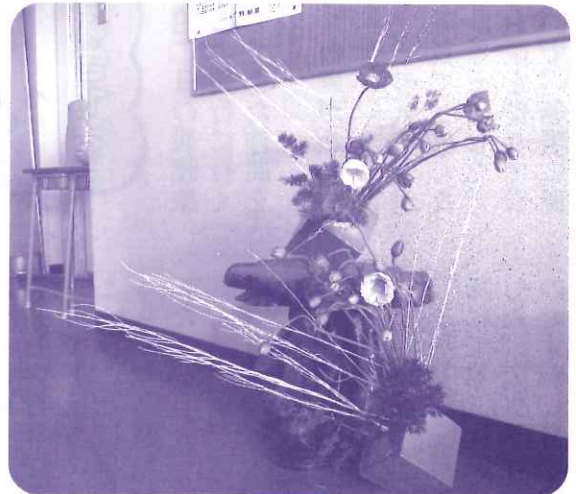
by セルプ・みらい



いつだって真剣です

したう はん はた なにごと いよく
8月1日から下請け班で働いています。何事にも意欲
せっきよくてき いぜんつと しょくば ねん
があり、積極的です。以前勤めていた職場は15年モ
つづ がんば したう はん ささ
続けた頑張りやです。これから下請け班を支える
ひとり ちから はっき おも
一人として力を発揮してほしいと思います。

ふれんど パーク



はる しょうか
春の小花たち by けやき作業所



しよめい あつ
署名、たくさん集めるぞ!

by こぶし作業所



ポルトガル語こうざ⑤



ウン フェリス アーノ ノーヴォ
Um feliz ano novo

あけまして
おめでとう



こぶしSupporters

サポーターズ

後援会 保護者会・ボランティアのページ

～ こぶしの会を地域の大切な社会資源に育てるため、私たちは強かにバックアップします～

ピカピカの車椅子がプレゼント!! セルフ・みらい

ホンダ関連企業のボランティア「ホンダとちのき会」様より、車椅子をプレゼントしていただきました。車椅子は落ち着いた紺色で、とても軽く扱いやすい優れものです。歩行が少し困難な利用者の新しい“足”として活用させていただきます。ありがとうございました。



出番はいつかな？

けやきの後援会を支えて10年! けやき作業所

今回はけやき作業所の後援会でお世話になっているハイコーパックの鈴木社長に後援会・けやき作業所への思いをお話してもらいました。

町民祭でのバザーや、グループホームすずらんの家立ち上げにご縁を頂いてから早や10年が経ちました。この間のけやき作業所の発展に敬服するとともに、いくらかのお手伝いをさせて頂き有難く思います。成功に近づく程困難は大きくなるといいます。さらに声を大にして共に頑張りましょう。



ハイコーパック
鈴木健夫社長

キッチンセルフのボランティアを終えて こぶし作業所

こぶし作業所が福祉プラザにレストランを開くので、ボランティアにきてもらえないかというお話を頂いて、二人で一人分のお手伝いができればいいかと軽い気持ちでボランティアを引き受けてから、早いもので6年が過ぎました。

始めた頃は食器を割ったり、スパゲッティを茹ですぎてしまったり、失敗ばかりでこれでは手伝いどころか足手まといになるばかりで何の役にも立たないのではと落ち込むことがありましたが、そのたびにスタッフの皆さんの「ドン・マイ」の優しい言葉に助けられて今まで続けてこられました。シェフの方がスタッフに加わられてからは、仕事の合間に簡単な料理や調理のコツなどを教えていただき、自宅での家事にも役立っております。

このたびお互い家庭の事情や体の不調のため、10月末で辞めさせていただくことになってしまい、申し訳ありません。

セルフでの仕事はボランティアというよりは仲間の人たちとの交流が楽しくて毎週通ったようなものです。

私たちが手伝うことよりも、仲間の人たちの明るい笑顔や、ひたむきに頑張る姿に教えられることが多かったような気がします。

6年間本当にお世話になりました。また心温まる寄せ書きをありがとうございました。セルフに通ったいい記念になります。

これからもキッチンセルフのスタッフの皆さんがお元気でお仕事されるよう、またキッチンセルフがいつまでも福祉プラザを訪れる人たちの憩いの場でありますようにお祈りしております。

火曜日担当のボランティア一同

社会福祉法人
こぶしの会

- こぶし作業所
・知的障害者通所授産施設
・日中一時支援事業
☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912
E-mail kobushi@chive.ocn.ne.jp
TEL 028 (613) 5703
- こぶし作業所生活支援センター
・在宅障害(児)者の相談・支援
☎321-3235 栃木県宇都宮市鑑山町字東原146-7
TEL 028 (667) 5531
- く る み
・知的障害者ケアホーム
☎321-0912 栃木県宇都宮市石井町字内野2867-3
TEL 028 (664) 0414
- けやき作業所
・知的障害者通所授産施設
・指定生活介護事業
・日中一時支援事業
法人事務局
☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244
TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789
E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
- 第2けやき作業所
・指定就労移行支援事業
☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532
TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818
E-mail inageda@fancy.ocn.ne.jp
- すずらんの家
・知的障害者グループホーム
☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2
TEL 028 (677) 4430
- けやきハイツ
・知的障害者ケアホーム
☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178
TEL 028 (677) 2876
- 第2けやきホーム
・精神障害者グループホーム
☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1204-4
TEL 028 (677) 0776
- セルプ・みらい
・知的障害者通所授産施設
・日中一時支援事業
☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23
TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177
E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp
- ぼ て っ と
・知的障害者グループホーム
☎321-4364 栃木県真岡市長田字北原1451-2
- 地域活動支援センター
[県東ライフサポートセンター・真岡]
・在宅障害(児)者の相談・就労支援
☎321-4305 栃木県真岡市荒町111-1
TEL 0285 (83) 2567 FAX 0285 (83) 2567

本会の定款、事業計画、財務諸表等を閲覧ご希望の方は、各事業所までお申し出ください(閲覧時間8:30~17:00)

編 集 後 記

寒さが増し布団から出るのが辛い時季になってきました。

忘年会シーズンが近づき身も心も躍る12月、こぶしの会では指導監査が行われました。毎回この時期がくると、書類の整理などでてんでこ舞いになってしまうのは私だけでしょうか? 監査は何度あってもドキドキ&身が引き締まる思いがします。そしていつも終わってから決意するのです「これからはしっかりと書類整理しておくぞ」と。ともあれ睡眠不足の日々から解消され、安心して年越しを迎えられそうです。

もうすぐ2006年も終わろうとしています。今年は自立支援法の施行の年となり私たちにとっていろいろな意味で忘れられない年になりました。来年こそは良い年になりますようにと願いをこめて、どうぞ皆さん良いお年を。(鈴木)

編集委員

田澤 幸子 枝 雅紀 廣本 佳奈子 鈴木 美輝